

サービス名	特徴	発注・公式サイトURL
フジフィルム WALL DECOR	フジフィルムが提供する、写真を送るだけで高品質なパネル加工製品として受け取れるサービスです。手軽に写真展レベルの展示作品を制作できるのが特徴で、特に「GALLERY」と「MUSEUM」の2つのラインアップがプロやハイアマチュアから支持されています。 「GALLERY」と「MUSEUM」の違い 両者は仕上りのコンセプトと構造が大きく異なります。 GALLERY（ギャラリー） 構造: 写真プリントにVカット（断面を斜めにカット）したマットを組み合わせ、木製パネルに仕上げます。 特徴: マットがあることで、作品に奥行きと高級感が生まれます。伝統的な額装に近い見方で、落ち着いた雰囲気やクラシックな表現をしたい場合に適しています。風景写真やポートレートなど、幅広いジャンルに対応します。 MUSEUM（ミュージアム） 構造: 写真プリントを薄いアルミ複合板に貼り付け、裏面に「ゲタ」と呼ばれる木製の台座を取り付けた構造です。 特徴: 壁から作品が数センチ浮き上がって見える「フローティング展示」が可能で、写真そのものが際立つモダンで立体的な展示効果が得られます。フレームが無いため、作品の世界観に鑑賞者を引き込みやすいのが利点です。現代アートや写真展で非常に人気の高い展示方法です。 プリント品質: 銀塩方式の「写真仕上げ」が基本で、通常の写真印画紙タイプで、光沢があり世の中でもっとも普及している面種「グロッシー」が標準です。オプションで「クリスタルペーパー」、「美濃和紙」などの面種も選択可能です	https://fujifilmwall.jp/walldecor/
Photopri (フォトプリ)	プロカメラマン向けのオンラインプリント・額装工房です。最大の特徴は、圧倒的な用紙の選択肢と、それに対応する詳細な額装・パネル加工のカスタマイズ性です。 プリント: EPSONやCanonのプロ向けプリンターを使用し、純正インク・用紙に加え、Hahnemühle（ハーネミュレ）やILFORD（イルフォード）、阿波和紙など、国内外のファインアート紙を50種類以上取り揃えています。 モノクロ専用紙やバライタ紙、メタリック調の用紙など、作品の表現に合わせた最適なメディアを選択できる自由度の高さが魅力です。 額装・パネル加工: シンプルなアルミフレームから重厚な木製フレーム、アクリル加工まで幅広く対応しています。 WALL DECORの「MUSEUM」に似た「パネル貼り」加工も可能で、スチレンパネルや木製パネルにプリントを貼り付け、フレームと組み合わせることで高い平面性と耐久性を実現します。 マットも複数色から選択でき、作品とのコーディネートが可能です。 特徴: とにかく選択肢が豊富で、作家が自身の表現意図を細部まで反映させたい場合に最適なサービスです。ウェブサイト上で用紙や加工方法をシミュレーションしながら価格を確認できる利便性も備えています。	https://www.photopri.jp/

写真弘社	1935年創業の老舗プロラボ。特に銀塩印画紙へのプリントと、質の高い額装に定評があります。ここでは、ラムダプリント（印画紙）と、金丸真（https://www.kanamarushin.co.jp/）のオリジナルアルミフレーム「極」（きわみ）の組み合わせを前提とします。 印画紙プリント： デジタルデータをレーザー露光し、現像処理を行う「ラムダプリント」を提供。インクジェットにはない、豊かな階調と深み、高い保存性が特徴です。カラー（光沢、ラスター、クリスタル）、モノクロ（RC、パライタ）に対応しています。 伝統的な手焼きプリントも行っており、フィルムからの制作にも強みがあります。 額装（金丸真「極」シリーズ）： 写真作品を最大限に引き立てるためのミニマルなアルミフレームです。 幅5mmのスリムタイプから11mmのワイドタイプまであり、色は黒・白・シルバーから選べます。アクリル付きで、作品をしっかりと保護します。 「極」シリーズ以外の高品位フレームも取り揃えていますので、作者の好みに応じてフレームを選ぶことも可能です。 オーダーは、①プリント、②マット加工、③フレームを個別に選択し、組み合わせる形になります。 特徴： 「作品」としてのクオリティを追求する作家向けの本格的なサービスです。特に銀塩プリントの質感にこだわる場合や、モノクロ作品の表現においては、第一の選択肢となり得ます。長年の歴史に裏打ちされた信頼性の高さも魅力です。	https://www.shashinkosha.co.jp/
アトリエ マツダイラ	額装は行わず、写真プリントそのものの品質を極限まで追求することに特化したプリント工房です。 サービス内容： 代表の松平光弘氏が作家と対話を重ねながら、1枚1枚丁寧に色調や濃度を調整し、作品の意図を汲み取った最適なプリントを制作します。 特にモノクロプリントやファインアート紙への出力に定評があり、多くの写真家から絶大な信頼を得ています。 HahnemühleやCansonといった最高級のファインアート紙を多数取り扱い、それぞれの紙の特性を活かしたプリント技術が強みです。 特徴： プリント工程そのものを作家と共に創り上げる、というコラボレーションに近いスタイルです。単純な作業としてではなく、作品制作の最終工程としてプリントを捉える作家に最適なサービスと言えます。価格は都度見積もりとなることが多いですが、その価値は唯一無二の仕上がりにあります。	https://atelier.matsudaira.co.jp/

ピクトリコ プリント工房	ピクトリコプリント工房とは、インクジェット用紙メーカー「ピクトリコ」が運営する、高品質な作品プリントサービスを提供する工房です。写真作品を、プロ仕様のプリンターと豊富な種類の用紙を使って、お客様の要望に合わせてプリントしてくれます。また、額装やパネル加工などのオプションも提供しています。 インクジェット用紙メーカーなので光沢紙、半光沢紙、無光沢紙、キャンバス地、アート紙、和紙など、様々な種類の用紙を取り扱っており、作品のイメージに合った用紙選びをサポートします。	https://www.pictorico.jp/print/print_kobo/
roonee 247 fine arts	東京・小伝馬町にギャラリーも併設する【ルーニィ 247 ファインアーツ】では、展覧会で使いやすい額縁をリーズナブルな価格で貸し出しサービスを提供。表面には軽量で安全なアクリルを使用しています。レンタルはニールセンのアルミフレーム（ブラック／シルバー）各サイズを取り揃えています。 東京の店舗での受け取りはもちろん、発送受け取りでも対応しているので、全国の展覧会、展示会、写真展など様々な場面でご活用可能。レンタル以外でも長年ギャラリーの運営を行ってきた経験を活かして、目的や予算に応じて、作品の内容に最も適した額装も相談可能。	https://www.roonee.jp/
ライカ プレミアム プリント	ライカが提供するプリントサービス。 ライカストア銀座店やグローバルサイトにおける現在の情報では、「職人が一枚ずつ手作業で仕上げるプレミアムプリントのご相談をお受けし」といった抽象的な記述に留まっており、デジタルプリントへの対応、使用する機材や用紙、額装の可否、そして具体的な価格体系についての情報は一切公開されていません。このサービスは、オンラインラボと技術や価格で比較されることを前提に設計されていません。 熱心なライカ愛好家のために用意された、ライカで撮影された、特別な思い出のある作品のための「特別注文（スペシャル・コミッション）」となっています。 詳しくはライカにお問い合わせ下さい。	Pro-Store@leica-camera.co.jp 03-6215-7074 直接お問い合わせください。